

周布 まちづくりセンターだより

第 59 号 かわら版(第257号)

令和 8 年(2026年) 2月号

浜田市周布町イ374

TEL/FAX(0855) 27-0058

メール sufu-k@ph-hamada.jp



周布地区 12月末 現在

世帯数: 2,296 (前月比-6)

人口: 4,683 (前月比-11)

男2,252 (-6) 女2,431 (-5)

餅つき交流会&ゲーム(ボッチャ)

蒸し上がったもち米を臼に移し、最初は男性が杵で力強くつき、「よいしょ!!」というかけ声にあわせ、女性や中学生も杵を振り下ろし、餅をつきました。



つきあがった餅を地域の方は慣れた手つきで丸め、中学生は丸め方を教えてもらい、一つ一つ丁寧に丸めていきました。



合間には、参加者と中学生がボッチャを通して交流を図りました。初めてボッチャをする方も多く、チーム同士で話しながらボールを投げ合いました。

そして、周布の昔話『吉賀三郎右衛門』の紙芝居を中学生が読みました。

つき上がった餅は全員で大根おろしやきな粉、砂糖醤油などでいただきました。出来立てのおいしさに笑顔があふれ、世代を超えた活動になりました。



～ 新年を迎える準備 ～

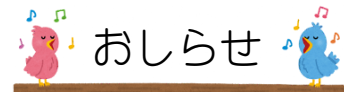
12月26日(金)、中学生ボランティア、運営推進委員、職員で館内外の大掃除を行いました。

冷たい風が吹く中、調理室の拭き掃除や食器、調理器具の整理整頓、スリッパ拭き、研修室やロビーの窓拭きやサンの部分まで丁寧に水拭きしてくれました。

普段できない箇所も丁寧に掃除しました。



また、玄関には地域の方と中学生による立派な門松が完成しました。みなさんの力で気持ちよく新年を迎える準備が整いました。ありがとうございました。



お知らせ

お問合せ・申込

まちづくりセンター ☎27-0058

まちづくり
委員会主催

サロン交流会

日時: 2月26日(木) 9:00~11:30

参加費: 無料

内容: 認知症予防体操・ゲーム他

講師: 高島美妃さん

浜田レクリエーション協会

まちづくり
委員会主催

チラシ
あり

むすびカフェ

日時: 2月26日(木) 11:00~

場所: 周布まちづくりセンター

あったかうどんとスイーツで、
ほっと一息しませんか?



チラシ
あり

周布地区グラウンドゴルフ大会

日時: 3月4日(水) 9:30~

定員: 25名(定員になり次第締切)

参加費: 100円

チラシ
あり

煌めきクラブ

日時: 2月15日(日) 9:30~11:30

場所: 周布小学校 体育館・校庭

内容: カローリング・卓球・ボッチャ

日時: 3月8日(日) 9:30~11:30

場所: 周布小学校 体育館・校庭

内容: グラウンドゴルフ大会・

モルック・卓球

チラシ
あり

2月 センター利用予定表

1月19日現在

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	ラジオ体操 のびのび3B体操 大正琴	周布の匠 空手教室	フォークダンス 周布コーラス		書道サークル スポーツ吹矢 アロハイナ周布	
8	9	10	11	12	13	14
衆議院議員選挙	ラジオ体操 確定申告出張 相談	空手教室	建国記念日 	子育て広場 アロハイナひなし	ポールエクササイズ 書道サークル	
15	16	17	18	19	20	21
	ラジオ体操 のびのび3B体操 大正琴	空手教室	料理教室 フォークダンス 詩吟教室 元気アップ3B	アロハイナひなし	スポーツ吹矢 アロハイナ周布	
22	23	24	25	26	27	28
出雲追分	天皇誕生日 	空手教室	フォークダンス 詩吟教室 元気アップ3B 生花教室	サロン交流会 むすびカフェ	ポールエクササイズ スポーツ吹矢	

燃えるチカラと 流るチカラを学ぼう

11月20日（木）、三隅発電所（ボイラトップ・校内見学）と平原上集会所（西条柿について学習）に地域住民10人が参加しました。



石炭船の入港

三隅火力発電所

三隅発電所では、地域資源を活用した再生可能エネルギー施設の見学や学習をしました。2022年運転開始の2号機や石炭船の入港も見る事が出来ました。身近で目に見える施設の仕組みや稼働の内容を知ることが出来、CO₂削減にも努力されていることが良く分かりました。



ボイラトップ見学・構内見学

参加者アンケートより「日本最大級の火力発電所は環境・効率・エコ等、浜田市の自慢できる施設で感心しました。」「電気の生まれる迄の工程がよく分かった。」「第一印象は施設の大きさ、迫りに圧倒されました。発電の仕組みをわかりやすく説明してもらいとても勉強になりました。石炭が主な燃料ということも初めて知りました。」（原文のまま）感想がありました。

美味しい柿の秘密を探ってみよう！



西条柿

地域の農産物「西条柿」の学習は、白砂まちづくりセンターに協力をいただきました。田城主事が「三隅平原地区 西条柿奮闘記」の紙芝居を読んでくださり、石田センター長は西条柿の歴史や特徴、栽培の工夫、渋抜きの方法など、日頃なかなか聞けないお話を分かりやすく紹介していただきました。参加者は積極的に質問し、有意義な研修になりました。



参加者アンケートより「柿の木の高さは低くても、作業は大変だと思います。」「先人の苦労の結果がすばらしい果物となり、その過程がわかり、またわかりやすい説明で良かった。」「柿の木一本にしても手間ひまかけての作業愛情かけての西条柿おいしいですね。」「平原地区が西条柿を最初に作られ地域の為になっていることが話や紙芝居でよくわかった。」（原文のまま）感想がありました。

正月飾りづくり

12月24日（水）、正月飾りと神棚飾りを作りました。講師の青木誠二さんにしめ飾りの由来や作り方を教えてもらい、できたしめ縄に各自飾りをつけていきました。各工程ごとに分かりやすく説明され、参加者同士が助け合いしめ飾りを作っていました。去年も参加された方は、自分で作ったから愛着がもてたと話されていました。出来上がった作品をみなさんご家庭に持ち帰り玄関や神棚に飾られ新しい年を迎えられました。



青木誠二さん

6年生



12月の周布小共育だより

12月23日（火）、6年生が「正月飾りづくり」を行いました。最初に、講師の青木さんから、「しめ縄」は神様を迎えるために飾るものです。神様に来てもらう目印になるから、気持ちを込めてしめ縄を作り、家の玄関（自分の部屋でも良い）に飾りましょう。と話がありました。



ワラをねじって「しめ縄」を作り、うらじろ・ゆずり葉・紙垂・松枝・稲穂・橙（葉みかん）の飾りを付けて完成させます。地域ボランティアに協力してもらい、立派な正月飾りを作ることができました。子どもたちからは、「ワラをねじるのが難しかった」「絶対に家に飾ります。」「地域の人と一緒に作れたりお話が出来てとても楽しかったです。」と感想がありました。

コミュニティスクール in 周布小 「1・15 あいさつ」の日 (い いこ)

あいさつ運動が始まりました。中学生ボランティアに声掛けし、毎回数名の生徒が参加してくれます。小学生も戸惑いながらもではありますが、少しずつ会釈したり、手を振ったりしながらあいさつをしてくれます。この取り組みが地域に広がっていくといいと思います。是非、毎月1日、15日一緒にあいさつしませんか？

